

みなのも

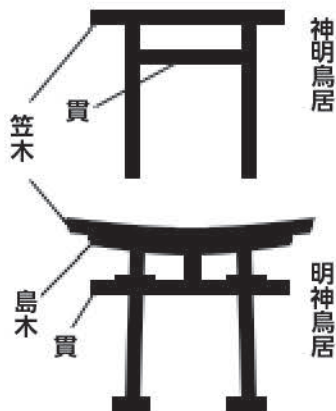
歴史散歩

萩神社の石鳥居

社会教育担当 No.15

鳥居ってなんだろう？

鳥居は、左右二本の柱の上に笠木をわたし、その下に貫を入れて連結したもので、神社の神域を示します。参道の出入り口などにあり、外から一の鳥居、二の鳥居・・・といえます。鳥居にはさまざまな形があり、代表的なものに神明鳥居と明神鳥居があります。



出牛地区にあった萩神社

今回紹介する石鳥居がある萩神社は、かつてはここより北方の出牛地区にありましたが、明治十四年の神社合祀令により、この地に移され、石鳥居も共に移されました。

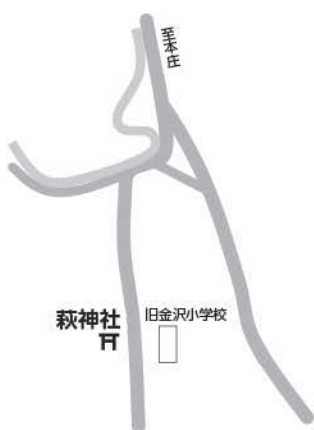
室町時代に建てられた石鳥居

萩神社の石段を登った先に高さ約三・五メートルの石製の稲荷鳥居があります。稲荷鳥居は、明神鳥居と似ていますが、鳥木と柱の接合部に台輪があるのが特徴です。この石鳥居は鳥居の貫の部分で構成する石が一部失われています。

江戸時代に編さんされた『北武蔵名跡志』には「萩宮石鳥居、永祿十丁卯九月と云、されど漫滅定かならず。」と、萩神社の石鳥居は、室町時代の永祿十年(一五六七年)に建てられたらしいが、文字が摩滅してはつきりしないとされています。年号は神社に向かって左側の柱の中央部に刻まれています。『北武蔵名跡志』にあるとおり、はつきり読めません。しかし、石鳥居としての価値は大変高いことから、町指定有形文化財となつて

います。

萩神社では、毎年五月五日につつじまつりが開催されています。まつりにお越しの際は、ぜひ鳥居にも目を配ってみてください。



第23回 金沢地区つつじまつり

期日 5月5日(日)

時間 午前10時～午後4時

場所 萩神社境内

内容 県有形民俗文化財出牛人形浄瑠璃「絵本太功記・尼ヶ崎の段」、餅つき大会、日本舞踊、秩父フラダンス、富くじ大会、田舎料理販売 ほか

主催 つつじまつり実行委員会

